

## CAPD：オープン入浴

Q4

CAPD 患者です。入浴する時、ラパックなどを使っていて少し煩わしいのですが、全く出口部をカバーせず、いわゆるオープン入浴を行っているところがあると聞きました。そこではどのように行っているのか教えてください。

A4

CAPD 患者さんのお腹では、腹膜とつながっているカテーテルが外部に出ているので、腹膜炎予防のために、出口部やカテーテルを密封した閉鎖入浴が一般的です。しかし、より安楽な入浴法であるオープン入浴を希望し、実践されている患者さんもいます。オープン入浴とは、出口部にカバー材などを貼らずに入浴する方法で、カテーテル挿入術後2～3か月から、出口部の状態をみて開始されます。

次に実際の入浴法を説明します。

- ① 接続チューブのキャップが確実に閉じていることを確認する。
- ② 出口部を観察し、痛み、腫れ、熱っぽさなど、異常がないことを確認する。
- ③ カテーテルと接続チューブを観察し、ひび割れや接続部の緩みなど、異常がないことを確認する。
- ④ カテーテルをビニール袋に入れる。
- ⑤ 立ったり座ったりする時、腰ひもなど

を使用してカテーテルがぶらぶらしないようにする。

- ⑥ 一番風呂に入浴する。
- ⑦ 体を洗うのとは別の清潔なタオルを用意し、石鹸をつけて出口部周囲を洗浄する。
- ⑧ 浴槽から上がった後は、最後に出口部をシャワーで流す。
- ⑨ 浴室から出て水分を十分に拭き取る。
- ⑩ カテーテルのケアを行う。

なお、出口部、カテーテル、接続チューブに異常がある場合には入浴を中止し、医師や看護師に相談しましょう。

感染するのではないかという不安の強い患者さんは、初めは、スパークリン PD（浴用洗浄剤）を使うことによって、安心してオープン入浴をすることができます。

（平野 宏／腎臓病医療センター  
ちゅら海クリニック・医師）